

動画制作演習 ～童謡を用いた短編映像作品をつくる～

内容 小学生向けに童謡を用いた短編動画作品を制作する

構成は、1. タイトル 2. 音楽・歌詞 3. 終わりの映像 の3部構成

作品にタイトル、作詞者、作曲者、童謡の歌詞（全てでなくてよい）を表示させて、曲を流す。

作品を見て何組の何班の作品かわかるようにする。名前は入れても入れなくてもよい。

制限時間は発表時のセリフを含めて2分にする。

演習の流れ

1. パルソナ（実際にいそうな人物像）を考える

動画を見せる子ども（小学生）の人物像を作り上げる

1-1. 子どもへのインタビュー

子どもに下記の質問をして、パルソナや動画づくりの参考になる情報を集める

周りにインタビューができる子どもがいない場合は、インターネットで子どもを検索をして、イメージ像を作り、その子どもにインタビューをしたらどうなるか考えて記入する。

<インタビューの内容>

Q1. 自己紹介をお願いします。どんな小学生かできるだけ詳細に説明できるように質問をする。

趣味は何ですか？将来になりたい職業は？

（パルソナの名前は質問した子どもの本名を使わずに、自分または班で考える。）

Q2. 好きな童謡は何ですか？

Q3. その童謡のどこが好きですか？

Q4. どんな動画が好きですか？

Q5. その動画のどこが好きですか？

1-2. 「パルソナを考える①」をできる限り詳細にまとめる。自分が小学生の頃のエピソードを加えても書いてもよい。

1-3. 3, 4人のグループになり、「パルソナを考える②」に、インタビューシートやパルソナを考える①の各自のイメージ像をまとめて整理して、班のパルソナのイメージ像を作る。

- ・ユーザ（ここではパルソナの）属性（性別、家族構成、趣味、・・・）

- ・小学校での属性（クラブ、委員会、・・・）

- ・ユーザのニーズ（知りたい、解決したい、達成したい、・・・）

に加えて、制作者のゴール（ニーズを踏まえて、ユーザにこう見せたい、こうあって欲しい・・・）

- ・最後にユーザの顔と氏名を書く

- ・ユーザの顔のイラストはスマホやタブレットで撮影し、PCに取り込み、Excelの「パルソナを考える②」シートに挿入する

1-4. パルソナに向けた動画のイメージを固める

- ・パルソナの人物像

- ・パルソナに伝えたい情報やメッセージ、動画のタイトルを記入する

（注意）動画のタイトルを決めた後に伝えたい情報を決めると、作るのが難しくなる可能性がある。例えば、「かえるの合唱」とタイトルを決めた後、「かっこよさ」を伝えようとするとなかなか

なるが、しっかり「かえるの合唱」がかっこよくなるように演出できるなら問題はない

- ・どんな内容の動画を見せたら、満足してもらえるか？ 演出的なことをあげる

1-5. Excel の「ペルソナを考える②」シートをまとめる

- ・ペルソナの画像は紙で下絵を描いてデジタルペイントをする

(Excel の図形機能で書いた場合、ダウンロードや生成 AI で作った場合は評価が低くなる)

2. ストーリーボード（絵コンテ）を作る

2-1. タイトルとメッセージの設定

- ・ペルソナを考える②に従って、作品のタイトルと動画によって何を伝えたいかを設定する

2-2. ストーリー構成を考える（タイトル・音楽や歌詞・終わりを細かく考える）

- ・構成を考える

ペルソナを手掛かりに構成を考えれば、小学生向けのものになってくる

- ・伝えたいことに沿って、映像を工夫する
- ・効果的に BGM、テロップなどを使う

間、タイミングを考える

※小学生が見たいと思ってくれそうな、メッセージがわかりやすいストーリーを目指す

2-3. ストーリーボードの作成

3. 動画制作

PowerPoint のファイル「[クラス]-[班]doug」(11HR の 2 班なら 11-2doug.pptx)を作り、ストーリーに従って、動画素材を集める。※他人の著作物を利用するときはダウンロード元のサイトの URL など著作権者の情報を記録する

- ・クリップ（画像や動画）を編集する
- ・音楽を作成する

授業では MIDI シーケンスソフト「Domino」の使い方を教える

- ・エフェクトをかける
- ・テロップを載せる
- ・ムービーファイルとして書き出す

※計算された効果的な情報デザインで、1 分程度の動画をより魅力的な動画にする

4. 発表準備

班の中で発表者を決める。複数で発表してもよいが、うまく交代できなかつたり、稚拙に見えたりすることがあるので注意する。発表者以外に、発表映像を残す者やタイムキーパーを決める。他にスライドを進める者、進行する者などの役割を作ってもよい。人手が足りないときは他の班の人に頼んでおく。発表前にリハーサルをして、パソコンや撮影機器の動作確認の確認し、発表の流れを把握する。

5. 発表

発表の初めに何組何班かはっきり伝え、ペルソナの内容と動画を見せ（動画を見せた後にペルソナを見せてもよい）工夫したところなどを説明する。説明が不十分だと、良い作品でも、評価が低くなることがあるので注意する。発表の準備時間は 1 分、発表時間は動画を含めて 2 分。各班 1 分準備して 2 分発表することを繰り返していく。準備時間には入れ替わる時間も含まれるので発表が終わっ

た班は速やかに席に戻る。念のため教員も撮影して記録に残すが、自分の班の発表は自分たちで撮影して記録に残す。

6. 評価

あらかじめ発表前にペルソナや制作物を見て、制作物をループリックを見て評価する。相互評価のファイル名は「[HRN0]相互評価.xlsx」とする。発表をループリックを見て評価する。この時、制作物の評価を変えてもよい。評価できなかったところは、発表映像を見て評価してもよい。なお、自分の班の制作物については評価しない。

評価ファイルを回収後、評価の平均（総得点／評価者数）をとって、発表者、制作物、総合点の順位を算出する。

7. 振り返り（自己評価）

記述形式、制限時間あり

8. 提出物

個人のワークシート、班のワークシート、
班の作品、班の発表映像
相互評価、自己評価